

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	男女共同参画推進事業			事業番号	19-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	市民生活部	大津 隆治	人権・広聴相談課	小瀬村 正宣	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	5	暮らしの安心がひろがるまちづくり	
		施策展開の方向	9	一人ひとりが大切にされるまちをつくる	
		施策	19	人権・男女共同参画社会の推進	
予算事業名	男女共同参画推進事業費 男女共同参画計画策定事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→		法令上の位置づけ	義務づけ規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成30年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	男女共同参画基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律				
国・県の計画等	(国)第4次男女共同参画基本計画、(県)かながわ男女共同参画推進プラン(第4次)		計画期間	(国)平成27年度～令和2年度 (県)平成30年度～令和4年度	
関連個別計画	第2次伊勢原市男女共同参画プラン		計画期間	平成30年度～令和4年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	男性も女性も性別等に関わらず誰もが社会に参画し、多様な個人が尊重され、支え合う社会づくりが進められています。高齢化の進展に伴い、さまざまな分野で多様な人材が求められており、中でも女性の活躍が期待されています。そうした中、家庭における役割分担の見直しや、男性の働き方の見直しが求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	市民や事業者等に対し、男女共同参画の考え方を広く周知するため、男女共同参画プランに基づく各種啓発活動を実施します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民				
事業内容 (手段、手法など)	・男女共同参画プランを推進するとともに、同プランの進行管理を行います。 ・市民で組織する「伊勢原市男女共同参画推進委員会」と連携し、男女共同参画フォーラムを実施するとともに、情報誌等により男女共同参画に関する普及啓発を行います。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	男女共同参画プランの推進・進行管理	プラン推進・進行管理	プラン推進・進行管理	プラン推進・進行管理	
	男女共同参画推進委員会の運営支援	運営支援	運営支援	運営支援	
男女共同参画の普及啓発	ホームページ作成 啓発活動	啓発活動	啓発活動		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
	男女共同参画フォーラム及び啓発講座等の参加者数	427人 (平成29年度)	平成30年度 430人	令和元年度 430人	令和2年度 430人

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	第2次伊勢原市男女共同参画プランに基づき、男女共同参画の理解を深めるための啓発活動を継続して行います。また、市民委員による伊勢原市男女共同参画推進委員会の意見も取り入れながら、事業の実施方法等を検討し啓発を継続していきます。				
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>			
	<input type="checkbox"/> 補助金	<b>補助先</b>			
	<input type="checkbox"/> その他	<b>具体的内容</b>			
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	男女共同参画プランの推進・進行管理	推進・進行管理	推進・進行管理	推進・進行管理	
	男女共同参画推進委員会の運営支援	継続	継続	継続	
	男女共同参画の普及啓発	継続	継続	継続	
<b>実施した取組の内容</b>	伊勢原市男女共同参画推進委員会の運営を支援し、啓発誌の作成、講演会などの啓発活動を実施しました。また、男女共同参画プランの進行管理を行いました。				
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>年度</b>			
		<b>【現状値】</b>	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	男女共同参画フォーラム及び啓発講座等の参加者数	427人 (平成29年度)	439人	115人	479人

	年度	平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
		千円	円	千円	円	千円	円	千円	円	千円	円			
コスト	<b>事業費合計 (a)</b>		461	千円	357	千円	653	千円	461	千円	403	千円		
	内訳	国県支出金 ①	0	千円	0	千円	250	千円	0	千円	0	千円		
		地方債 ②	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		その他特財 ③	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		一般財源 (a)-①-②-③	461	千円	357	千円	403	千円	461	千円	403	千円		
<b>国県支出金の内容</b>		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(第2次分) 補助率:10/10												
その他特財の内容	受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<b>前回の改定時期</b>										
	その他													
人件費	<b>正規職員</b>		0.5	人	4,255	千円	0.5	人	4,350	千円	0.5	人	4,300	千円
	<b>その他の職員</b>		0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	<b>人件費合計 (b)</b>		0.5	人	4,255	千円	0.5	人	4,350	千円	0.5	人	4,300	千円
<b>トータルコスト (a)+(b)</b>		4,716	千円	4,707	千円	4,953	千円							
単位当たりコスト	対象数	定義	市民	単位	市民		単位	市民		単位	市民		単位	
		対象数	102,416	人	102,248	人	102,046	人						
	総事業費 / 対象数	46	円	46	円	49	円							

評 価 (Check)				
<b>進捗状況</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	いせはら男女共同参画フォーラムについては、コロナ禍における新たな実施方法として、講師2人の動画をホームページに一定期間公開する形で実施しました。また、啓発講座についても、Zoomを用いるなど、新しい形で実施しました。
<b>実施水準</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	啓発講座等の開催回数については、近隣市と同水準で実施しています。
<b>有効性</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	市民で組織する伊勢原市男女共同参画推進委員会と連携して、いせはら男女共同参画フォーラムや啓発誌の作成・配布等を実施することで、多くの市民に男女共同参画の意識啓発を行うことが出来ました。
<b>効率性</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	B	左記判断理由	新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながら男女共同参画の意識啓発を実施することができました。一方で、オンライン事業の特性を活かして、より多くの市民に視聴していただけるよう周知の方法等を検討していく必要があると考えます。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
<b>事業推進上の課題</b>	コロナ禍における今回の実施方法を踏まえ、新しい生活様式の中でも途切れなく男女共同参画の意識啓発を実施していくため、社会情勢を見極めながら事業の実施方法を精査していく必要があります。
<b>令和3年度の取組方針</b>	第2次伊勢原市男女共同参画プランに基づき、男女共同参画の理解を深めるための啓発活動を継続して行います。また、市民で組織する伊勢原市男女共同参画推進委員会の意見も取り入れながら、事業の実施方法等を検討し啓発を継続していきます。
<b>所管部長による総評</b>	コロナ禍において集合形式での講座等が実施できない中でも、オンラインによる新たな事業展開が図れたものと考えます。 男女が対等なパートナーとして社会参画できる環境づくりに向け、第2次伊勢原市男女共同参画プランに基づき、新しい生活様式の中でも、継続的に男女共同参画の啓発を行います。